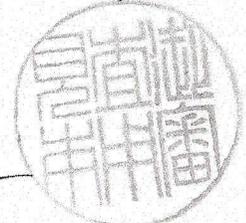


文 部 省 檢 定 済

昭和七年二月十二日 師範學校・高等女學校音樂科用

女 子
音 樂 教 科 書

卷 之 一



永 井 幸 次
田 中 銀 之 助

共 編

開 成 館 藏 版
大 阪

夏やすみ

犬童球溪

一、啼く鳥ききつゝ、業を勵み

春風あみつゝ、書を読みし

その日の夢今は、はるけく過ぎさりて

待ちかねたる夏の、休みは来る

二、日に日に睦びし、友と別れ

ひとりとならば、淋しけれど

終日父母の、みもごに侍らひて

樂しき夏やすみ、送るは嬉し

三、緑の色濃き、森の木蔭

掬ぶも涼しき、谷の清水

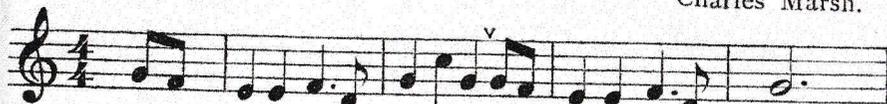
心おかぬ友と、日毎に手をとりて

暑き夏をこゝに、送るも樂し

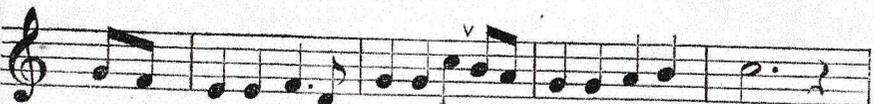
夏やすみ

Charles Marsh.

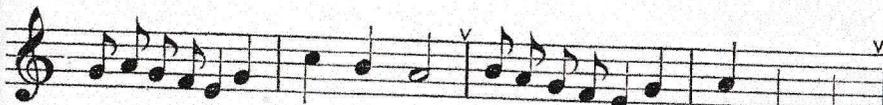
♩ = 116.



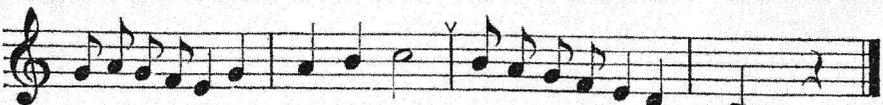
1. ナー クトリキ キツツワー ザヲハゲ ミ
2. ひー にひにむ つびしとー もとわか れ
3. ミー ドリノイ ロコキモー リノコカ ゲ



ハー ルカゼア ミツツフー ミヲヨミ シ
ひー とりとな らんはさー びしけれ ど
ムー スブモス ズシキター ニノシミ ツ



ソノヒノユメ イマ ハ ハルケクスギ サリテ
ひねもすちち はは の みもとにさぶ らひて
ココロオカヌ トモト ヒゴトニテヲ トリテ



マチカネタル ナツノ ヤスミハキタル
たのしきなつ やすみ おくるはうれし
アツキナツヲ ココニ オクルモタノシ

